

---

# 君を守ると決めた日に

小塚 自

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君を守ると決めた日に

### 【Nコード】

N4336V

### 【作者名】

小塚 自

### 【あらすじ】

元同僚・阿踏あがみに、彼の子供・タクミを預かって欲しいと頼まれた元警官・叶 アヤカ（かのう あやか）。

しかし何故か、タクミを誘拐しようと画策している『良からぬ者達』がいて――。

利口で臆病なタクミと、不器用でドライなアヤカ、そして水面下で動く阿踏と暗躍する良からぬ者達。

冒険なんて柄でもない、青春なんて年でもない、事件なんてとん

でもない。

けれど守ると決めたから。

## 雨に隠れるその前に

中雨、なんて言葉を自分で作って勝手に使いたいくらい、雲に向かっただけのお前もうちよつと頑張れよ、とか、もうちよつと休めよ、とか言いたくなる雨模様だった。

車の中は外の世界に雫が張り付いていて、ペーパードライバーの私には少々危険だ。

- - 次を……どっちだっけ？

なんてよそ事を考えていた私は案の定信号に気付くのが遅れた。頭をハンドルに勢い良くぶつける。

「……きれいだー」

ふと助手席のタクミがそう言っただけ、私の頭部打撲に気遣う素振りも見せずに窓にかじりついた。

「……なにが？」 決して子供に語り掛けるトーンではない。案の定タクミは、こちらを見てから、声を出してしまった自分を恥じるように、俯きながら「ごめんなさい」と呟いた。

「……男の子なら、もっと堂々としなさい」

溜め息だったのか、或いはセリフだったのか。

言った本人である私でさえよく分からないものにタクミがもう一度「ごめんなさい」と言ったのを飽き飽きしながら聞き流し、私は信号が青になったことをしつこいくらい確認してアクセルを踏み込んだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4336v/>

---

君を守ると決めた日に

2011年12月1日23時54分発行